

# 環境学習 みえ

2006

秋号(通巻26号)

テーマ

## 生きものについて考えよう!!

すっかり秋らしくなってきたね。  
こんな季節は自然のなかで生きものを観察してみるのもいいね!  
あれ、この生きものはなに?  
え、こんな花ってあった?  
ちょっと前にはあの虫がいたのに。  
なんか変だぞ??  
身近な生きものにも何か異変が起きているみたい!



### 「生きもの」のこと知ってる?

最近、自然のなかの生きものが大変なことになっていることは知ってるかな?

生きものの種類が減ったり、外国や他の土地からやってきた生きものが、前からいる生きもののかまを邪魔したりしてるんだ。

生きものについて、ちょっと学んで、ちょっと行動するだけで環境にやさしくなれるよ! 「自然・生きもの」についてくわしく見てみよう!

特集

### 「生きもの」について考えよう!

がんばっています!! こどもエコクラブ

### 環境学習情報センターニュース

- ・ こども環境体感フェア2006  
(Mieちびっこエコ王国大会)
- ・ 今月の企画展示
- ・ 講座のご案内 ほか

平成18年10月発行 発行/三重県環境学習情報センター  
四日市市桜町3690-1

# 生きものについて考えよう!

## 生物多様性（せいぶつたようせい）ってなんだろう？



### 生物多様性の意味は？

まず、最初にちょっと難しいけど「生物多様性」という言葉を紹介します。

「多様性」とはそれぞれが違った性格や特徴を持っているという意味です。「生物多様性」という言葉には、身の回りの生き物や植物にはそれぞれが生きている意義があり、お互いが影響しあってバランスを保っています。人間も自然の一部だから、お互いが尊敬しあって自然を大切にしないてはいけませんよ、という意味が込められています。

小鳥のさえずり、カエルの鳴き声、夏にはセミ、秋にはコウロギも鳴きます。森に行けば、イノシシや鹿がいて、土を掘り起こせば虫がすんでいる。でも、地球上の自然の中で、みんながお互いに仲良く暮らしてゆくためには、それぞれの生き物たちは役目を持っているのです。

たとえば、森のなかでは、植物になった実や葉っぱを昆虫や小さな動物が食べます。次に、その



### 生物多様性のピンチ！

人類が地球上に生まれたのは約500万～700万年前といわれ、アフリカ大陸のエチオピアからタンザニアに渡る区域の「グレート・リフト・バレー」と呼ばれているところでは、たくさんの類人猿（るいじんえん）の化石が発見されています。

その後、人類は、長い年月を経て地球という惑星全体で暮らすようになり、数千年の昔からものすごく文明が進化して、今のような高度な人間になってきたのです。その半面、生きものすみかをこわしたり、たくさんつかまえてきたという歴史も持っているのです。

この結果、地球上では「生物多様性の危機」が

### 食物連鎖のこと



昆虫や動物を肉食の大きな動物が食べます。動物や植物が死んでしまうと微生物の餌になってまた元の土に戻ってゆきます。まるで生きもの間の関係式みたいですね。

これを食物連鎖（しょくもつれんさ）といって、物質やエネルギーが自然界を循環しながらまるで網の目のように絶妙なバランスを保っているわけです。

起こっています。そこで、世界中のみんなが生物多様性を守ろう、という取り組みが生まれ、新たに「生物多様性条約（CBD）」ができ、私たちの住んでいる日本もこれに加盟しました。

### 生きものを おびやかすもの!!

乱獲や森林の破壊  
計画性のない開発  
農薬の多使用

移入種  
生きものに影響する  
化学物質

生活のしかたが変わって  
里山の手入れをしなくなったこと

## 生きものが絶滅（ぜつめつ）するってどういうこと？

地球上にはたくさんの種類の生きものがすんでいて、その数は150万以上、知られていないものを含めるとその10倍もいるといわれています。これらの野生の生きものは、それぞれがちがった環境と結びついています。たくさんの生きものが見られるということは、それだけいろいろな環境があるということです。

ただ、さまざまな人間活動の影響によって、環境が大きく変わり、20～30年前には考えられなかったほどのスピードで、多くの種類の生きものが地球上から消えています。そして、その規模もどんどんと大きくなっていて、地球全体にまで広がっています。

たった1種の生きものの絶滅が、それを含んでいた生態系全体を崩してしまうような例もあります。ある種類の生きものが絶滅してしまえば、それを人間の手でよみがえらせることはできません。



### レッドデータブックとは？

国や三重県では、数がものすごく減っている、または絶滅の危険がある生きものについて、どれくらいの数が減っているのか調べ、絶滅の危険性に順位をつけてまとめたものが「レッドデータブック」です。

今、どんな生きものが絶滅する可能性があるのか、危険な状態にいるのかを、多くの人に知ってもらうためにできました。

ひとりでも多くの人に「レッドデータブック」を読んでもらって、絶滅しそうな生きものを知ってもらいたいのです。

#### レッドデータブックのホームページ

RDB図鑑（環境省）

<http://www.sizenken.biodic.go.jp/rdb/>

三重県レッドデータブック2005

<http://www.eco.pref.mie.jp/shizen1/rdb/>



インターネットで「レッドデータブック」を検索してみよう！  
いろんなレッドデータブックが見つかるよ！

## 移入種（外来種）のお話



### 移入種とは？

野生の生きものは、気候や地形などに応じてすんでいる場所が決まっています。それぞれが特長をもって生態系を作っています。しかし、珍しい動物や昆虫がペットとして輸入されたり、鑑賞や育てるなどの目的で植物が持ち込まれたりして、本当は、その土地にすんでいないはずの生きものが、野生の生きものとして定着してしまう例が増えています。

動物や植物には、自然の中を自分の力で移動できる力がありますが、それを超えて連れてこられた生きものを「移入種」と呼んでいます。



### 移入種の影響

移入種は生態系に大きな影響を与えます。移入種には天敵（てんてき）がないため、短い時間でもものすごく増え、今までいた生きもの（在来種）を食べてしまったり、競い合いの結果、昔からいる生きものたちのすみかやエサを横取りしてしまうことがあります。

長い年月、今までいた生きものといっしょに生活することによって、生きものの特徴や性質が変わってしまうこともあります。

このように、移入種は、生態系のバランスを崩し、今までいた生き物を絶滅させてしまうこともあります。

ブルーギル



（写真提供：志摩半島野生動物研究会）

ブラックバス



（写真提供：志摩半島野生動物研究会）

カダヤシ



資料提供：  
三重県の魚2002年版  
2003年版

（写真提供：鳥羽水族館）

みんなは  
どうする？

## 生きものとの付き合いかた

私たちひとりひとりがバランスのとれた自然環境を守ることが大切なんだ。みんなで考えてみようよ！



外国産のカブトムシを買って  
もらったんだ。  
観察日記も書きちゃったし、  
かわいそうだから、  
山に放してあげようと思うんだ。  
もしかすると山で増えるかも。  
でも山にはなしていいのかな？

急に山に放されて、生きていけるのかな？  
エサも自分で探さないといけないし、もともとそこにいた  
虫たちとケンカしたり、カブトムシも、虫たちもかわいそ  
うだよ！放すのはやめよう！！  
クワガタや他の生きものでも同じだよ！



ミドリガメ（ミシシippieアカミミ  
ガメ）を飼っているんだけど、すご  
く大きくなっちゃった。  
家の水槽は狭すぎるし、近くのカメ  
がいる池に逃がしてあげようかな。  
仲間ができて、きっと喜ぶよね？

食事はどうするのかな？すみかも自分で探さない  
といけないし、たいへんだよ。  
もともといたカメも、見たことないカメに驚いて  
しまうんじゃないかな。  
やっぱり最後まで飼ってあげよう！！  
もともといたカメの食べものや卵を産む場所をうばっ  
たり、たくさんふえて問題なんだ！



花の種を、もらったんだけど、  
私の家はマンションだから、  
まく場所がないの。  
近くの野山に種をまこうと思  
うんだ。周りが花いっぱい  
になったら、きれいだもんね。

きれいかもしれないけど、もし広まってしまったら、  
もともとそこで育っていた植物たちは育たなくなるよ  
ね？外に広まらないように、管理できるところで育て  
ようね！！



最近、近所の川でメダカが少  
なくなったから、遠くの田舎  
のおばあちゃんのところ  
で捕まえてきて放してあげよう  
と思うんだ。  
でも、はなしてもいいの  
かな？



生きものたちは、それぞれの地域にあった特徴を持っ  
ているものなんだ。  
だから、よそのメダカを放してしまうと、その地域にあ  
った特徴が失われ、結局減ってしまうこともあるんだよ。  
そもそも、減ってきた原因が他にあるはずだし、よそか  
らつれてくるのはやめよう！



### ペットを捨てないで！

みんなにお願いがあります。みんなが大切に育てたペットは、絶対に捨てないでください。  
ペットを飼っている途中で棄てたり、自然の中へと放したりしてしまうと、その土地の生態系をおびやかすこと  
になります。  
せっかく欲しくて手に入れた動物や昆虫なのですから、飼い主になったら、さいごまで責任を持って飼いましょ  
う。  
私たちひとりひとりが、バランスのとれた自然環境を守るという意識を、しっかりと持っていくことが大切です。

# 生きものについて学ぼう!

環境学習情報センターでは、自然や生きものについて学ぶ体験プログラムを用意しています。ぜひご利用下さい!!

## 自然体験講座のご案内

### 水生生物調査

川の指標生物を採集して川の水質を調べることのお手伝いをします。



### 森林教室

森林の機能について、わかりやすくお伝えします。



### バードウォッチング

鳥の不思議や身近な野鳥、バードウォッチングのポイントについてお話し、楽しくバードウォッチングができるようお手伝いします。



### 自然観察

普段あまり気にかけていない身近な自然を注意してよく見てみると、自然の様子がわかったり、新たな感動があったりします。そんな自然観察のお手伝いをします。



その他、  
ご相談に応じます!  
お気軽に  
お問い合わせ  
ください!!

### プロジェクト・ワイルド

プロジェクト・ワイルドはアメリカで開発された、野生動物を中心とする、環境保全と環境教育の補完的なプログラムです。基本的なテーマは『生息地の重要性』。プロジェクト・ワイルドは、普段見えにくい野生動物の生活の様子やつながり、野生動物の生息地が人間からどのような影響を受けているのかななどを、体を動かしながら模擬的に体験したり、みんなで話し合いながら考えたりする環境教育プログラムです。



## 貸し出し教材

県下各地域で環境学習や環境活動を活発に取り組んでいただくために、各種の教材を無料でお貸しします。どしどしご利用ください!



バードウォッチングキット



礫採集キット



水生生物観察キット

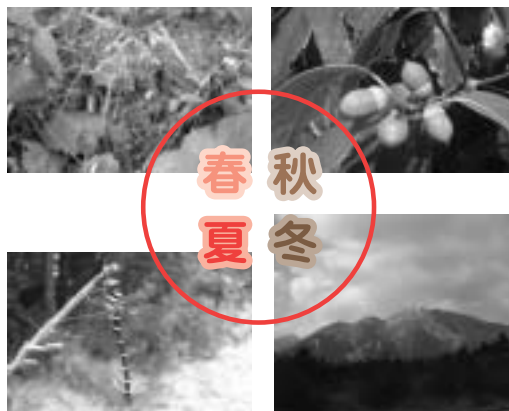
くわしくは、  
環境学習情報センター  
ホームページを  
ご覧ください!

<http://www.eco.pref.mie.jp/forum/center/center1.htm>

## センター周辺の自然

環境学習推進員が、センター周辺の自然を紹介しています。ぜひアクセスしてください!

<http://www.eco.pref.mie.jp/shizen/sizen/sakura/index.htm>





がんばっています!

# こどもエコクラブ



～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～

## 鈴鹿市立清和せいわ小学校 手作り絵本サークル (鈴鹿市)

会員数31名 サポーター数2名

清和小学校の3年生から6年生で構成されています。

【地域と小学校のお友達】で作ったクラブです。



### いつどのようにできたのですか？

小学校内に公民館が隣接しています。授業の一環として公民館調べを行なった際に、その中の「手作り絵本サークル(大人向け)」を体験しました。絵本作りに大変興味を持った子ども達からの「手作り絵本サークル(子ども向け)」を作りたい、という声によって平成14年に結成されました。翌平成15年にエコクラブへ登録しました。

代表サポーターの  
打田正樹先生、高橋正さんに  
インタビューしました。

### どのような活動をしていますか？

小学校を中心に週1回活動しています。自然の大切さをテーマにした絵本作りを中心にエコうちわ作り、ネイチャーゲーム等を行っています。活動の場は学校内だけにとどまらず、「夏の鈴鹿川体験」、「エコ王国大会」などでも、作った絵本や紙芝居を発表しています。

### どうやって会員を集めていますか？

3年生から6年生に募集のチラシを配っています。兄弟で入ってくれる子もいます。

### どうやって活動費を作っていますか？

活動費は集めていません。出掛ける時の電車代などは各自自己負担していただいています。

### どのようなことを子ども達に伝えたいですか？

最初は環境問題を意識していませんでしたが、自然を大切にするという絵本作りの体験を通してそういった意識が芽生えてきました。今後はそれを足がかりに、自分達でどんなことを取り組んでいけるのかを自発的に考えてくれるようになってほしいと思います。



## こどもエコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。こども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。仲間が集まればどんなグループでもこどもエコクラブとして登録して活動を始めることができます。(入会費・登録費は無料です)

## かべ新聞をつくろう！

かべ新聞は、こどもエコクラブのこどもたちが、自分たちの1年間の活動を、もぞう紙にまとめたものです。「こどもエコクラブ全国フェスティバル」の会場に、全国から応募されたかべ新聞が展示されます。今年度は、平成19年3月24日(土)25日(日)に、神奈川県横須賀市で開催されます。

かべ新聞を作ってくれたクラブには記念品をプレゼント！さらに三重県の代表に選ばれたクラブは、こどもエコクラブ全国フェスティバル(一泊二日)に無料で参加できます。

みんなが送ってくれたかべ新聞は、コピーして三重県環境学習情報センターでも1年間展示するので、みんな見に来てね。インターネットでいつでも公開しているよ。

詳細は環境学習情報センターホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/forum/center/center1.htm>

# 環境学習情報センター ニュース

## 7月29日、30日 こどもかんきょう体感フェア2006 [Mieちびっこエコ王国大会] を開催しました！

こどもエコクラブの会員や地域のこどもたちが、自然やエネルギー、リサイクルなどについて楽しく学び、体験できる場を設け、子供たちが未来への希望を持ち、自ら考え行動の場につなげられる機会の提供を目指して開催しました。



「ものづくり」・「たいけん」・「なるほど きて・みて」・「自然教室」・「地産地消」コーナーなどNPOや関係団体の協力により出展されました。マーチング演奏・バトントワラーなどのオープニングで、楽しい一日がスタートしました。

### 今月の企画展示

7月～9月の展示



#### 7月 「シャープ株式会社多気工場」

「誠意と創意をもって「人と地球にやさしい企業」に徹する」を理念として環境活動を行っています。柳田川流域の清掃活動や、地域学校との取り組みや地域との交流活動なども盛んに行われています。



#### 8月 「中部電力株式会社三重支店」

「みんなでエコの輪を広げよう」をテーマに「ちゅうでんエコの輪」を、市民活動団体と協力して様々な環境イベントを行うことで展開をされています。



#### 9月 「生活協同組合コープみえ」

環境問題を生協事業・運動の根源的な課題として位置づけ、全国の生協・東海コープ事業連合などと力をあわせ、環境負荷削減をはじめとした環境保全運動に積極的に取り組んでみえます。



グリーンくん

ようこそ三重県環境学習情報センターへ



グリーンちゃん

環境学習情報センターに来館してくれた小学校・中学校（6月～8月）

鈴鹿市立牧田小学校6年生  
鈴鹿市立椿小学校5年生  
鈴鹿市立庄内小学校4年生  
鈴鹿市立桜島小学校4年生  
岐阜県山県市立伊自良中学校2年生  
四日市市立中央小学校4年生  
四日市市立中部西小学校4年生

三重県環境学習情報センターでは  
社会見学・環境学習体験教室の  
受け入れを行っています。

## ■講座のご案内（10月～平成19年2月）

※参加費無料

種 類	講 座 名	内 容	開催予定日	募集人数	場 所
インター プリター研修	トンボの世界を探る	トンボの興味深い生態について	10月14日(土) 申し込み期限 10月12日(木)	60名	環境学習情報センター
環境学習指導者 養成講座	プロジェクト・ワイルド エドゥケーター養成講座 講習会	プロジェクトワイルドの エドゥケーターを養成します。	11月23日(木・祝日) ※資料代として4,000円が必要です。 申し込み期限 10月31日(火)	25名 (18才以上)	三重県文化会館
環境学習指導者 養成実践講座	アクティビティ体験コース	参加型環境学習を推進・コディ ネートできる人材を養成します。	11月12日(日)、19日(日) 定員になり次第締め切ります。	各20名	四日市地域総合会館 あさけプラザ
	ファシリテーター養成コース		12月2日(土)、9日(土)、 16日(土) 定員になり次第締め切ります。		
環境情報講座	環境ホームページ入門講座	環境に関するホームページの作成 を学びます	10月21日(土)、22日(日) 申し込み期限 10月12日(木)	15名	環境学習情報センター
子ども環境講座	自然の材料でリースを作ろう！	身の回りの自然の素材でリースを 作ります。	12月10日(日) 申し込み期限 11月26日(日)	20名	環境学習情報センター
	節分のおまじなみ豆を使って、 いろいろなきなこアメを作ろう！	いろいろなきなこ粉を使ってアメ にします。	平成19年2月4日(日) 申し込み期間 12月4日(月) ～1月21日(日)	20名	環境学習情報センター

詳しくはお問い合わせください。

## ■三重県環境学習情報センターの環境講座（随時受付）

社会見学等での環境講座のほか、学校の授業や公民館、企業、市民団体の学習会などへの出前講座も実施しています（無料）。講座内容については、ご相談させていただきます。お気軽にご連絡ください。

講座の例	内 容	対 象
水質チェック教室	バックテストで水のCODを調べます。	小学校中学年以上
大気調査教室	簡易測定カプセルで採集した二酸化窒素の量を測定します。	小学校高学年以上
森林教室	森林の役割について考えます。	小学校中学年以上
自然体験教室	自然観察、バードウォッチング、水生生物調査など。	小学校中学年以上
エコ・クッキング	省資源、省エネルギーなどを考えたクッキング	小学校中学年以上
ごみ・リサイクル講座	家庭でできるごみゼロ、3Rの実践。	小学生以上
買い物ゲーム	模擬的な買い物を通じて、ごみを減らす方法を考えます。	小学校中学年以上
環境にやさしい消費者講座	グリーン購入を通じた環境への取組を考えます。	小学校高学年以上
環境家計簿講座	環境問題と省エネルギーを考え、環境家計簿のつけ方を説明します。	一 般
省エネルギー講座	地球温暖化防止と資源枯渇の問題から、省エネルギーの実践を考えます。	一 般
わくわく省エネルギー教室	人力自転車発電を体験して省エネについて考えます。(環境学習サークルみえと協働)	小学生以上

原則として、希望日の1ヶ月前までに、ご連絡ください。 出前講座については、使用する消耗品のご準備をお願いしています。

## 申し込み・お問い合わせ

## 三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3690-1(鈴鹿山麓リサーチパーク内)

TEL/059(329)2000 FAX/059(329)2909

電子メール center@eco.pref.mie.jp

ホームページ <http://www.eco.pref.mie.jp/>

開館時間 午前9時～午後5時30分

開館日 年末年始(12月29日～1月3日)以外は無休。

土曜日、日曜日、祝日もオープン

入館料 無料

